

健康診断結果報告書

〒 **受診_所1郵便

**受診_所1住所1
**受診_所1住所2
**受診_カナ氏名

****受診_氏名 様**

受診No.: **健診_受診ID 社員番号: **所団_社員番号

保険証: **受診_保険証記号-**受診_保険証番号
ID:**受診_ID 血液型: **受診_ABO*
**受診_生年月日 生_年齢 才 **受診_性別

医療法人 **福慈会 Medical Inspection Counselling**

担当医師: 政近 江利子



〒 542-0081 大阪市中央区南船場2-1-3 フェニックス南船場3階 ☎ 06-4963-3205(代表) Fax 06-4963-3206 http://www.fukujikai.or.jp/

今回受診された人間ドック健康診断の結果について、次のとおりご報告申し上げます。

項目	今回			前回			前々			項目	今回			前回			前々			項目	今回			前回			前々		
	値	単	位	値	単	位	値	単	位		値	単	位	値	単	位	値	単	位		値	単	位	値	単	位	値	単	位
**フリー糖	分																												
分類																													

判定記号の説明 A:異常なし A1:ほぼ正常 B:再検査不要 C:要経過観察 D1:要再検

D3:3ヶ月後再検 D6:6ヶ月後再検 E:要精検 F:要医療 G:要治療継続

総合判定	メタボリックシンドローム判定	保健指導レベル
D3	予備群該当	動機づけ支援

【総合判定コメント】

**総合判定
項目:72911

判定	項目	今回	前回	前々回	
管理データ	受診日	**健診_予定日	**健診_予定日%1	**健診_予定日%2	
	受診No.	**健診_受診No	**健診_受診No%1	**健診_受診No%2	
	コース	**契約_名称	**契約_名称%1	**契約_名称%2	
喀痰	喀痰細胞診	**結果値#2510:喀痰クラス	**結果値#2510:喀痰クラス%1	**結果値#2510:喀痰クラス%2	
肺機能	肺活量	ℓ **H#2401:肺活量	ℓ#240値#2401:肺活量%1	ℓ#240値#2401:肺活量%2	
	予測肺活量	ℓ **H#2406:予測肺活量	ℓ#240値#2406:予測肺活量%1	ℓ#240値#2406:予測肺活量%2	
	%肺活量	% **H#2402:%肺活量	%#240値#2402:%肺活量%1	%#240値#2402:%肺活量%2	
	1秒率	% **H#2404:一秒率	%#240値#2404:一秒率%1	%#240値#2404:一秒率%2	
	ピークフロー	ℓ/sec **H#2410:ピークフロー	ℓ#24410:ピークフロー%1	ℓ#24410:ピークフロー%2	
	%一秒量	% **H#2405:%一秒量	%#240値#2405:%一秒量%1	%#240値#2405:%一秒量%2	
	一秒量	ℓ **H#2403:一秒量	ℓ#240値#2403:一秒量%1	ℓ#240値#2403:一秒量%2	
	判定	**結果値#2450:肺判定	**結果値#2450:肺判定%1	**結果値#2450:肺判定%2	
胸部	撮影方法	フィルム番号	**結果値#2301:胸部No.%1	**結果値#2301:胸部No.%2	
	所見	**文書#2340:胸部X線所見	**文書#2340:胸部X線所見%1	**文書#2340:胸部X線所見%2	
血圧	初測	mmHg #120MAX / #120MIN	%201AX%1 / %120MIN%1	%201AX%2 / %120MIN%2	
	再測	mmHg #120MAX / #120MIN	%203AX%1 / %120MIN%1	%203AX%2 / %120MIN%2	
	平均	mmHg #5:算平均値 / #6:算平均値	%5:算平均値%1 / %3:算平均値%1	%5:算平均値%2 / %3:算平均値%2	
心電図	心拍数	回/分 **H#2291:心拍数	#229値#2291:心拍数%1	#229値#2291:心拍数%2	
	検査方法	検査番号	**結果値#2185:ECG-NO%1	**結果値#2185:EC-NO%2	
	所見	**文書#2140:心電図所見	**文書#2140:心電図所見%1	**文書#2140:心電図所見%2	
胃部	検査方法	フィルム番号	**結果値#2601:胃透視印字	**結果値#2601:胃透視印字	
	所見	**文書#2670:胃透視所見 **文書#2760:胃内視鏡所見	**文書#2670:胃透視所見%1 **文書#2760:胃内視鏡所見%1	**文書#2670:胃透視所見%2 **文書#2760:胃内視鏡所見%2	
腹部	超音波	**文書#3060:腹部超音波所見	**文書#3060:腹部超音波所見%1	**文書#3060:腹部超音波所見%2	
便	便潜血1日目	**結果値#45020:便潜血1	**結果値#45020:便潜血1%1	**結果値#45020:便潜血1%2	
	便潜血2日目	**結果値#45030:便潜血2	**結果値#45030:便潜血2%1	**結果値#45030:便潜血2%2	
診察	所見	**文書#2020:診察所見	**文書#2020:診察所見%1	**文書#2020:診察所見%2	
婦人科	乳房	触診	**文書#3660:乳房視触診所見	**文書#3660:乳房視触診所見%1	**文書#3660:乳房視触診所見%2
		超音波	**文書#3860:乳腺超音波所見	**文書#3860:乳腺超音波所見%1	**文書#3860:乳腺超音波所見%2
	子宮	マンモ	**文書#3760:マンモグラフィ所見	**文書#3760:マンモグラフィ所見%1	**文書#3760:マンモグラフィ所見%2
		細胞診	**結果値#5011:子宮クラス	**結果値#5011:子宮クラス%1	**結果値#5011:子宮クラス%2
		内診	**文書#5360:子宮内診所見	**文書#5360:子宮内診所見%1	**文書#5360:子宮内診所見%2
	超音波	**文書#5260:子宮超音波	**文書#5260:子宮超音波%1	**文書#5260:子宮超音波%2	

血液検査要約表			項目	内容
項目	内容			
血液一般	白血球数	白血球は、病原菌などから体を守る働きをする為、体に病原菌が入ったり炎症が起きている場合は増加します。白血病では、異常に増加します。	総蛋白 (TP)	肝臓の作業能力の程度を調べる検査の一つです。
	赤血球数	貧血の検査によく用います。不足すると、酸素の運動能力が落ち、細胞が酸欠状態になります。350万以下なら貧血です。	アルブミン	血漿の浸透圧を維持する為に重要なタンパクで肝臓で合成されています。
	ヘマトクリット (Ht)	血液中に血球成分がどのくらい含まれているかという比率のことで、貧血の診断によく用いられます。30%以下なら貧血です。	A/G比	血清タンパクの主成分であるアルブミンとグロブリンの比率です。
	血色素量 (ヘモグロビン・Hb)	血色素(ヘモグロビン)の量を調べて貧血を知る検査。低色素性貧血という診断がされます。10g/dl以下なら貧血です。	コリンエステラーゼ	肝臓だけで生成される酵素なのでその量を調べることによって肝臓の能力がわかります。低下していると肝硬変や悪性腫瘍の疑いがあります。
	血清鉄 (Fe)	鉄の摂取不足が貧血を招きます。鉄の1日所要量は、男性10mg、女性12mgなので、不足しないように十分摂取して下さい。	GOT	肝機能をみる最も一般的な検査の一つで肝臓の障害をみます。肝炎・肝ガン・心筋梗塞・筋ジストロフィーなどの目安になります。
血液脂質	総コレステロール (T-Chol)	動脈硬化など成人病の目安となるのがコレステロール値。高脂血症・高血圧・肥満・糖尿病・痛風・喫煙・ストレスなど関係があります。	GPT	肝機能をみる最も一般的な検査の一つで肝臓の障害をみます。肝炎・急性肝炎では高い数値は出るが慢性肝炎ではそれほど高くありません。
	中性脂肪 (トリグリセライド・TG)	中年以降気になる皮下脂肪の主成分がこの中性脂肪で、高い方は動脈硬化・脂肪肝など引き起こす原因になりますので、食生活に注意が必要です。	γ-GTP	アルコール性肝障害を起こしている人は、ほぼ全員に増加がみられます。
	βリポ蛋白	コレステロールを多く含んでいるもので、動脈硬化などの目安になります。	ZTT	急性肝炎ではあまり上昇しないが、慢性肝炎では中程度、肝硬変では上昇が著しくなります。
	HDLコレステロール	動脈硬化を予防する「善玉コレステロール」と言われ、肥満・運動不足・タバコの吸いすぎで、数値が下がります。	TTT	肝臓の繊維化がどの程度進んだかを調べ、肝臓の障害度をみる検査です。慢性肝炎・肝硬変では数値が上がります。
	LDLコレステロール	動脈硬化の原因となる「悪玉コレステロール」と言われ、数値が高い方は動脈硬化、心臓疾患、脳梗塞等を引き起こす原因になりますので、食生活に注意が必要です。	ALP	肝・胆道疾患だけではなく、骨の病気・妊娠・高脂肪食後および一部のガンなどに上昇が見られます。
腎臓・尿路系	尿素窒素 (BUN)	腎臓の機能を調べる重要な検査の一つです。腎炎・ネフローゼ症候群などの判定につかわれます。	LAP	LAPは胆汁に多く含まれる酵素で、肝臓・胆管の障害を調べる検査の1つです。
	クレアチニン (CRTN)	クレアチニンは腎臓から排泄される老廃物の一種で、腎臓の働きが低下すると血中のクレアチニンが増加します。	LDH	急性肝炎の初期や肝臓への転移ガンでは上昇度が著しくなります。
	尿酸 (UA)	主として痛風の診断の為に検査です。異常値の方は、医師と相談し、食生活の改善が大切です。	総ビリルビン	肝臓病の症状である黄疸を識別する検査法です。
	ナトリウム (Na)	増加の場合、脱水状態・食塩のとり過ぎなど、低下の場合、腎不全・利尿剤の使用などが考えられます。	HBs抗原抗体	B型肝炎の診断は主としてHBs抗原の検出によりわかり、一過性のB型肝炎の治療判定はHBs抗体の検出によります。
	クロール (Cl)	増加の場合、脱水症・腎盂腎炎・慢性腎炎など、低下の場合、水分過剰摂取・アジソン病などが考えられます。	HCV (C型肝炎ウイルス)	この抗体が存在する場合は、将来、肝障害を引き起こす確率が高くなります。
	カリウム (K)	増加の場合、腎不全・アジソン病など、低下の場合、尿細管アシドーシス・原発性アルドステロン症などが考えられます。	α-フエト蛋白	肝臓ガンの検査には欠かせない検査です。
膠原病	CRP	体の中に炎症があると、CRPという一種のタンパク質が血中に増加します。特定の疾患の診断には役立たないが疾患の活発性・重症度などがわかります。	CEA	ガンの部位までは特定できないが、大腸ガン・乳ガン・肺ガン・前立腺ガン・膀胱ガン・卵巣ガンなどで数値が上がります。
	RA	リウマチの疑いがあるときに用いる検査法です。血中のリウマチ因子の有無を調べます。	エラスターゼ1	膵臓の病気を診断する検査です。膵臓ガンでは約6割が異常に高い値になります。
	ASLO	体に炎症や化膿を起こす代表的な菌である溶連菌に感染しているかどうかを調べる検査です。	ペプシノゲン	胃の腫瘍等の疾患を調べる検査です。
膵機能	血清アミラーゼ	膵臓の病気を調べる代表的な検査です。アミラーゼとは糖質の分解に欠かせない消化酵素の一つです。	CA19-9	主に膵がん・胆のうがんなどの消化器がんで上昇する腫瘍マーカーです。
	尿アミラーゼ	膵臓の病気を調べる代表的な尿検査です。	PSA	PSAは前立腺ガンのスクリーニング(早期発見)を目的に使用される腫瘍マーカーです。数値が高いと前立腺ガン・前立腺肥大症などが考えられます。
糖尿病	血糖	重要な糖尿病検査項目の一つです。糖尿病は検査を定期的に行いながら治療していく病気である事を理解してほしいです。	CA125	卵巣ガンを調べる検査です。月経周期により変動がありますが、数値が高いと卵巣ガンのほかに、婦人科系疾患も考えられます。
	HbA1c	糖尿病のコントロール度を調べる検査の一つです。検査前1・2ヶ月以内の糖尿病のコントロールが不良だと高値を示します。		

肝胆道系

腫瘍検査

